

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		商店街（代表者）	来客数の動き	・10月には週末毎に中心部の公園でイベントが開催され、また、外国客船が2回入港したこともあり、商店街にかなりの人が流れてきた。大きな売上には繋がらなかったものの、にぎわいを創出し、特に飲食を中心に、売上が増加した。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・中国経済が落ち着きを取り戻しつつあり、レジャー関連や貴金属は好調に推移している。プレミアム付商品券の底上げ効果も続いており、微増ではあるが全体で前年を上回っている。ただ、飲食や若い人の消費は厳しさが抜けていない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・衣料品や雑貨は計画未達もみられるが、食品と大型専門店の好調が継続しており、物産展も大きく伸びている。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・今月は天候に恵まれ、台風の影響もなく、久しぶりに来客数が増加し、売上も順調である。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・9月の大型連休、天候気温に恵まれて、衣料品関係については、大きくは伸びていないものの、そこそこ良かった。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊客など利用人員が若干増加基調にある。ただ、客単価は上昇していないことが懸念材料として残る。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・今月は予約が前年を上回っている。特に入場者数が前年を上回っており、2～3か月前と比べても全体的に増えている。
	設計事務所（所長）	単価の動き	・建築の単価が上昇傾向にある。	
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・10月は閑散期に当たるが、顧客数はやや増加した。ただし、客単価が減少していることから、売上は変動の無い結果となった。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・暖かい日が続き、冬物の動きが鈍い。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・売上は前年を上回って推移しているが、来店客数が伸びていない。商品単価が上昇していることを考慮すれば厳しい状況であることに変わりはない。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・売上、客数、客単価ともにほぼ前年並みとなり、競争が増加しているなかで健闘している。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・天候や気温に大きく左右されるが、今のところ変化は見られない。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・高単価商品の売上が低迷している一方で、低単価商品の売上は上がっており、全体では前年並みで推移している。気温が高めに推移している為、重衣料の動きが悪く、客単価が低迷しており、内容としては厳しくなっている。
家電量販店（従業員）		販売量の動き	・ここ数か月売れる商品は変わっても、総合的な販売量は横ばい状態が続いている。	
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・10月の実勢は、良くもなく悪くもなく、新車販売は低迷を続けている。		
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・カー用品、自動車保険等、自動車周辺の商品購入にもインターネットを活用する客が増加している。		
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・軽自動車市場は、4月以降の落ち込みが回復傾向に無い。来店客数、受注台数ともに激減している。9月に新型車を発表したが、動きが鈍い。		
乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・10月は新車受注、登録数ともに前年並み。四国の各販売店においても、前年と比べてあまり伸びていない。		
その他小売 [ショッピングセンター]（副支配人）	来客数の動き	・気温の低下とともに来店客数が若干伸びているように感じられるが、強い動きではない。		
その他小売 [ショッピングセンター]（支配人）	販売量の動き	・売上の前年比は3か月前とほとんど変わらない。		
観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・宿泊単価が上昇したわけでもないが、宴会等では、それなりの予算を組んでやっていただく方が増えてきている。		

		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・国内個人旅行の申込は堅調であるが、海外個人旅行の申込状況が相変わらず不調である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今秋は遍路客が少なく、街中でも、夜に飲みに出る人が少ない為、人通りも少なく、長距離も出ないということで、良くなっていない。
		通信会社（支店長）	販売量の動き	・10月は販売量が少なくなる時期で、今年もほぼ例年同様の動きとなっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・個人消費が上向いている実感はない。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・高額商品の問い合わせ数は先月とほぼ変わらない。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・10月の売上は、前月比149%、3か月前比132%、前年比153%とそれぞれ大幅に増加している。これは、開催日数、曜日の関係による影響が大きい。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・たまに新規の来店があるが、さほど変わらない。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・日本郵政グループ株の上場が市場にどう反応するか、とにかく地方の消費景気を支えるものは可処分所得の増加につながる株式市場の活況しか見当たらない。法人住民税の再配分も総額1兆円では焼け石に水だろう。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・夜の繁華街の人出は少なく、来客数も少なかった。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ポイントのサービス品は売上が伸長はするが、翌日には下がり、連続してプラスは難しい。お得感が無いと購入意思が弱い。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・観光シーズンに入り、9月の大型連休や通常の連休、地域のイベントなどの行事が有り、天気も良好であったが、今月も前年割れとなっている。
		コンビニ（商品担当）	販売量の動き	・今夏以降、商品のセール等を実施しても、以前ほど伸び率が上がらない状況が続いている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・3か月前に比べ、来客数の動きがかなり鈍い。秋冬物も入荷しているが、気温が高いこともあり、アウター類が動かない。商店街の通行客や来客数を見ても、良くなっているとは思えない状況。
		タクシー運転手	お客様の様子	・売上や、お客様のお話の状態から判断した。また、9月の大型連休等でお金を使っており、小遣いがないという答えもあった。
	悪くなっている	一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・外食控えなのか、繁華街への客足が少なくなっている。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・単価の高いコンサートチケットの販売が低迷。前年に比べ、チケット売上が大きく下落している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・相変わらず来客数、客単価共に低い水準が続いている。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
(四国)	やや良くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量は減少傾向だが、生産量及び売上量はまずまず。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・再生エネルギー関連設備が主力の当社では、注文が後を絶たない状況にあり、今後も継続する見込み。
		輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格などが安定している。
変わらない		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・首都圏や京阪神などの都市部は全般的に好況感があるが、地方都市は厳しい状態が続いている。この傾向は今後、ますます格差が出来るものと思われ、特に地方都市は人口減少、高齢化などの影響、それに加えて、小売チェーン店の出店ラッシュにより、ますます地元資本の小売店は厳しいと予測される。
		木材木製品製造業	受注量や販売量の動き	・7月以降の生産量はほぼ横ばい。先々の見通しも受注残から推測すると12月ごろまでは現在の状態が続く見込みで、大きな山は見込めない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・総じて大きな変化はない。
		建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・民間工事受注量は増加しているが、販売量は横ばいで、景気は変わっていない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間工事ともに受注が伸びない。

	通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・10月に入っても受注量等に大きな変化無し。	
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・以前に比べて、資金需要が少なくなっている。	
	公認会計士	取引先の様子	・今月の各企業の決算書、ならびに試算表を見ると、前年とほとんど変わりがなく、赤字法人は全体の3割程度という状況が続いている。	
やや悪くなっている	建設業（経営者）	競争相手の様子	・公共事業の発注量が対前年度比で減少していることに加え、事業内容が偏っているため、当該分野を得意とする会社とそうでない会社で、仕事量の格差が大きくなっている。全体としては、総量が減少している。	
	輸送業（支店長）	取引先の様子	・顧客の商業貨物の出荷量の減少などが散見される。	
	輸送業（営業）	競争相手の様子	・景気低迷による業績悪化を受け、車両への投資を控え、減車等の経費節減を余儀なくされた中小事業者が多い中、慢性化している運転手不足も相まって、複数の同業者との提携強化で受注力を維持しようとする動きが以前にも増して顕著となっている。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用 関連	-	-	-	
(四国)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	求職者数の動き	・今年度上期後半より、求職者の数が増加し始め、求人企業とのマッチング率が緩やかに増加している。
		職業安定所	それ以外	・9月の月間有効求人倍率は、1.19倍で3か月前より0.09ポイント改善している。
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・中小企業を中心に、採用数に達していない企業が多く、8月以降も求人の問い合わせが継続的にある。求人数は前年と比べて3割程増加しており、来年度の求人の問合せも時々ある。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・大手企業からの求人が見られる。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・有効求人倍率が少しずつ下がってきており、派遣登録に来社する登録者もやや目減りしている。
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・どの業種も景況感は悪くなさそうに見えるが、人手不足による伸び悩みや、受注をこなせない、人件費・材料費の高騰などにより、景気は横ばい。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・過去最高の有効求人倍率が続いているが、求人条件に変化は無く、非正規雇用求人が半数近くを占めている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・中国の不動産投資、公共事業抑制等によって、建設機械の販売台数が大幅に減少していることを受け、管内建設機械用ハーネス製造会社が雇用調整を余儀なくされている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・労働者派遣法の改正などで、企業が採用に慎重になっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新聞の求人広告は前年比110%以上を維持しており「人」の需要は多い。しかし、営業的な広告は今月に入って鈍化基調。特に販売意欲が示されるチラシ折込や各種印刷物の発注が減っている。新規開店のオープン広告もほとんど無く、事業主の意欲が感じられない。
	悪くなっている	-	-	-